

2021 - 2022 フィンドレー大学・福井県奨学生月例報告書 9月

作成者：古市陽香

作成日：2021年10月9日

渡米してから約2か月が経ち、忙しくも充実した日々を過ごしています。朝晩は冷えることが多く、長袖を着る頻度も増えてきました。雷や雨の日も増え、夏の終わりを感じ少し寂しい気もしますが、一つひとつの季節を噛みしめながら大切に過ごしていきたいと思っています。今回の留学レポートでは、University Singersの活動、授業について、食文化交流、Ohio Saitama Global Speakers Programについてご報告します。

【University Singersの活動】

University Singersはフィンドレー大学のChoirを履修する学生から選ばれ、学校や地域で行われるイベントで歌を歌います。9月は大学内で行われた学生の表彰式でアメリカ国歌とフィンドレー大学の校歌を、10月はHomecoming breakfastというイベントで、合唱曲3曲とフィンドレー大学の校歌を歌いました。アメリカの国歌「The Star Spangled Banner」を覚えるにあたり、現地学生と歌詞の意味や背景を調べることで、国歌が何を指しているのか、聞き手はどのような想いで国家を聞いているのかを知ることが出来ました。また、現地生徒に日本の国家も披露したところ覚えていと言ってくれる生徒もおり、違う国籍同士でお互いの国歌の意味を理解し、歌えるようになってきたことを非常に嬉しく思いました。

【食文化交流】

アメリカに来て、私が何よりも恋しく感じるのは日本食です。福井で生まれ育ち、豊富な海の幸や山の幸、美味しいお米やお水をこれまで当たり前のように感じてきましたが、そのことを今はとても反省しています。日本から意地で持参した炊飯器が心の支えです。

やはり食は一つの文化であり、文化交流も兼ね休日に様々な国籍の友人と集まって料理を振る舞ったりシェアしたりすることも多く、今後は料理クラブを作り皆で多国籍の料理を作りレシピを教え合うことも検討しています。

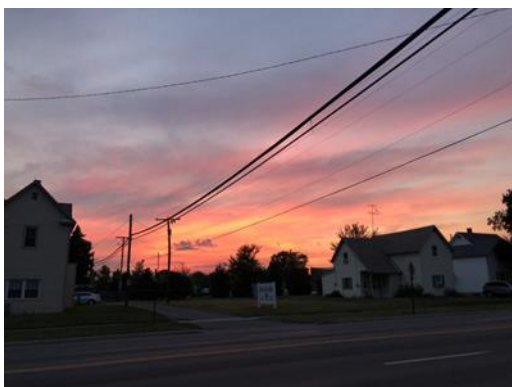


一番左の写真がデンマークのレシピのビーフシチュー、左から2番目の写真はザンビアとケニアのレシピでマンダジと呼ばれる揚げパン、ライス、チキンカレーとビーフカレー、そ

して右から2番目の写真は作ってくれた友人、一番右が日本の唐揚げです。他にも中国人の友人の土豆粿やアメリカ人の友人のツナサンドなど様々な料理をシェアしました。料理を通して、それぞれの国の味付けの特徴から物価、伝統的な行事などと話が広がっていくため、料理は一つのコミュニケーションツールだと感じました。

【授業について】

9月下旬から10月上旬はMid-termの期間です。図書館や構内の学習スペースでは集中して勉強する学生の姿が目に残ります。私も先週Social workのテストを受けました。テスト範囲はアメリカの社会福祉制度の種類や社会福祉士の役割、社会問題の現状など幅広く、最初は勉強の仕方に悩みましたが、同じクラスの生徒に勉強方法を教えてもらったり、皆で出題予想などを立てたりして臨んだことで、何とか成績を維持することが出来ました。学部



の授業に何とか参加出来ているのは、支えてくれる仲間のお陰だとしみじみ感じます。来週はHealth educationのMid-termが待ち構えているため、こちらもクラスメイトと協力しながらきちんと準備を進めたいと思います。

左図：図書館帰り19時半頃のフィンドレーの空

【Ohio Saitama Global Speakers Program dialogue】

この対談はzoomを使って行われ、アメリカで活躍されている経済分野とPublic health分野の専門家2名を招き、埼玉県の5名の大学生とフィンドレー大学の現地学生が参加し行われました。まずは専門家から新型コロナウイルスが経済に与えた影響と、ハンコック郡とフィンドレーの新型コロナウイルスの捉え方や現状についてお話いただき、その後学生も交えて議論をするという流れで進みました。対談は全て英語で進むため聞き取れない部分もありましたが、それでもアメリカではPublic Healthに十分な資金が回っていない現状があることや、新型コロナウイルスに関するMisinformationが問題になっていることなどをお話いただき、実際にそれにどう対応しているかなど細かく説明していただいたため非常に興味深く貴重な経験となりました。アメリカの新型コロナウイルスへの対策やPublic Healthの介入は今後ともリサーチしたい分野のため、継続して情報収集と勉強を進めたいと思います。

本報告書に関してご要望やお問い合わせ等ございましたら、以下のメールアドレスまでご連絡下さい。 furuichih@findlay.edu